

目 次

第1章 コンピュータ入門	1
1.1 序 論	1
1.1.1 コンピュータの歴史とその世代	1
1.1.2 コンピュータの基礎を創った人物	4
1.1.3 今日使用されているコンピュータの種類	5
1.1.4 高度情報化社会とコンピュータの役割	6
1.1.5 コンピュータを使うコツ	8
1.2 コンピュータのハードウェア	9
1.2.1 情報の表現方法	9
1.2.2 コンピュータの基本機能	15
1.2.3 コンピュータの動作	17
1.2.4 記憶システム	18
1.2.5 簡単なモデルによるコンピュータの動作の理解	20
1.3 コンピュータのソフトウェア	23
1.3.1 基本ソフトウェアと応用ソフトウェア	23
1.3.2 オペレーティングシステム	25
1.3.3 ファイル	27
1.3.4 日本語処理の仕組み	28
1.3.5 コンピュータ言語	29
1.3.6 プログラム開発の手順	33
1.4 コンピュータネットワーク	33
1.4.1 コンピュータネットワーク発展経緯と今後の展望	33
1.4.2 ローカルエリアネットワーク (LAN)	36
1.4.3 通信規約・OSI 基本参照モデル・TCP/IP 通信サービス	37
第2章 Windows とウェブブラウザの操作方法	41
2.1 利用環境	41
2.2 Windows XP の操作方法	42

2.2.1	ログオン	42
2.2.2	デスクトップ	42
2.2.3	ログオフ・シャットダウン	43
2.2.4	ヘルプ	44
2.3	ファイルの操作方法	46
2.3.1	エクスプローラ	46
2.3.2	ファイルとフォルダの作成	48
2.3.3	ファイルの移動・コピー	50
2.3.4	ファイルの削除	51
2.3.5	ファイルの検索	52
2.3.6	フラッシュメモリの利用	53
2.4	ウェブブラウザの操作方法	54
2.4.1	ウェブページの表示	54
2.4.2	更新・キャッシュ	55
2.4.3	履歴	55
2.4.4	検索	56
2.4.5	このページの検索	56
2.4.6	ショートカット	57
2.4.7	お気に入り	58
2.4.8	ダウンロード	59
2.4.9	印刷	60

第3章 情報の検索と利用 61

3.1	検索エンジン	61
3.1.1	ロボット型検索エンジン	61
3.1.2	ディレクトリ型検索エンジン	62
3.1.3	基本的な検索方法	64
3.1.4	高度な検索方法	66
3.2	情報の科学的な理解とその利用	68
3.2.1	検索した情報の検証	69
3.2.2	論文・レポートへの引用	69
3.3	情報発信と情報社会に参画する態度	70
3.3.1	電子メール	71
3.3.2	ウェブページ	72
3.3.3	その他の情報発信	73
3.4	情報セキュリティ	74
3.4.1	セキュリティホール	74
3.4.2	ウイルス対策ソフトウェア	75
3.4.3	SSL 通信	76

第4章 電子メール	77
4.1 電子メールの仕組み	77
4.2 電子メールソフトウェアの例	79
第5章 ワードプロセッサ	95
5.1 Office 2007 の共通事項	95
5.2 基本的なことから	97
5.3 Word のファイル	100
5.4 入力と文節	102
5.5 各種の文字	104
5.6 編集作業	106
5.7 文書を飾る	110
5.8 オブジェクト	114
第6章 表計算ソフトウェア	117
6.1 構成要素	117
6.2 基本技術	119
6.2.1 Excel の起動と終了	119
6.2.2 セルの操作	120
6.2.3 フォーマットと修飾	122
6.2.4 数式	123
6.2.5 そのほかの重要な技	128
6.3 応用	131
第7章 プрезンテーション	137
7.1 序論	137
7.2 プрезンテーションの下準備と心構え	137
7.3 Power Point を利用したプレゼンテーション作成の流れ	139
7.4 プrezentationの具体例	145
7.4.1 グラフの挿入	145
7.4.2 オブジェクトを挿入する	148
7.4.3 描画オブジェクトの利用	150
7.4.4 アニメーションの設定と効果	151
7.5 スライド資料の印刷	153
7.5.1 OHP シートへの印刷	153
7.5.2 配布資料の作成	154

第8章 ウェブページ制作入門	157
8.1 はじめに	157
8.2 ホームページ制作手順	158
8.3 HTML ファイルの編集	159
8.3.1 テキストエディタによる HTML ファイルの作成	159
8.3.2 秀丸エディタの機能紹介	161
8.4 HTML	163
8.4.1 キーワード	163
8.4.2 機種依存文字	164
8.4.3 要素, 開始タグ, 終了タグ	164
8.4.4 属性(プロパティ)	166
8.5 リンクを張る	166
8.6 イメージファイル	167
8.6.1 静止画ファイルの形式	167
8.6.2ペイント	168
8.6.3 画像を貼る方法	168
8.7 スタイルシート	169
8.7.1 index.html にスタイルを記述する	170
8.7.2 スタイルファイルを作成して city.html に適用する	172
8.7.3 hobby.html を作成する	174
8.7.4 ボックスに関連する属性	175
8.7.5 字体(フォント), 色, その他(抜粋)に関連する属性	176
第9章 文書処理システム L^AT_EX	177
9.1 T _E X とはどのようなものか	177
9.2 作業の手順	178
9.3 簡単な例	179
9.4 Winshell の機能	179
9.5 L ^A T _E X の利用するファイル	182
9.6 基本事項	183
9.7 基本的な要素	184
9.8 よく利用される環境	187
9.9 表	188
9.10 数式	190
9.11 図	194
9.12 相互参照	195
9.13 表紙	195
9.14 章, 節	196

第 10 章 図形処理	197
10.1 CAD	197
10.2 AutoCAD 2008 の構成と基本操作	198
10.2.1 ファイル操作	202
10.2.2 基本操作	203
10.3 AutoCAD 2008 による機械製図	213
10.3.1 作図対象	214
10.3.2 作図の準備	214
10.3.3 作図	218
10.4 AutoCAD 2008 による建築系製図	228
10.4.1 建築における CAD とは	228
10.4.2 建物概要	228
10.4.3 建築図面を作図するための準備	230
10.4.4 図面の修正	234
10.4.5 通り芯の作図	236
10.4.6 柱の作図	238
10.4.7 壁の作図	241
10.4.8 建具の作図	244
10.4.9 階段の作図	247
10.4.10 衛生器具の作図	248
10.4.11 床の作図	250
10.4.12 文字・寸法の作図	253
10.4.13 鏡像複写と図面の印刷	254
10.5 3 次元 CAD	256
10.5.1 Pro/ENGINEER (Wildfire 3.0)	256
10.5.2 3 次元 CAD と 2 次元 CAD の違い	256
10.5.3 3 次元 CAD の特徴	257
10.5.4 3 次元 CAD と設計	258
10.6 Pro/ENGINEER による 3 次元 CAD	258
10.6.1 Pro/ENGINEER の起動と終了および構成要素	258
10.6.2 ファイル操作	260
10.6.3 基本操作メニュー	263
10.6.4 部品モデルの作成	265
10.6.5 図面の作成	273
10.6.6 アセンブリ	275
付 錄	281
A.1 キーボードの各名称と機能	281
A.1.1 キーボード上の文字の読み方	282

A.1.2 各キーの機能について	283
A.1.3 ファンクションキーについて	286
A.2 マウス操作	287
A.2.1 クリック	288
A.2.2 ダブルクリック	288
A.2.3 ドラッグ	288
A.2.4 ドラッグ & ドロップ	288
A.2.5 スクロール	288
A.3 MS-IME の操作方法	288
A.3.1 IME パッドによる入力方法	290
A.3.2 文字一覧の選択	291
A.4 タスクバーについて	291
A.4.1 マウスの右クリックについて	292
A.4.2 第 2 章で説明した以外の Windows 上でのショートカットキーについて	293
索引	294